

用語説明

水質管理目標設定項目(26項目)

No.	水質項目	目標値	説 明
1	アンチモン及びその化合物	アンチモンの量に関して、0.02mg/L以下	合金、蓄電池、難燃助剤などに使われています。排水の混入や地質により河川水等で検出されることがあります。
2	ウラン及びその化合物	ウランの量に関して、0.002mg/L以下	地質中に広く存在する主要な放射線物質です。地質により河川等で検出されることがあります。
3	ニッケル及びその化合物	ニッケルの量に関して、0.02mg/L以下	ステンレス、特殊鋼、蓄電池などに使われています。鉱山排水、工場排水あるいはメッキ製品からの溶出により検出されることがあります。
4		欠	番
5	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/L以下	塩化ビニル原料、殺虫剤、有機溶剤として使われています。
6		欠	番
7		欠	番
8	トルエン	0.4mg/L以下	染料、香料、火薬、有機顔料等の合成原料及びベンゼン原料として使われています。
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.08mg/L以下	プラスチックの添加剤(可塑剤)に使われています。
10	亜塩素酸	0.6mg/L以下	二酸化塩素による消毒副生成物として生成されます。
11		欠	番
12	二酸化塩素	0.6mg/L以下	浄水処理過程において酸化剤として使用します。
13	ジクロロアセトリル	0.01mg/L以下(暫定)	水中の有機物質と消毒剤(塩素)が反応して生成されます。
14	抱水クロラール	0.02mg/L以下(暫定)	水中の有機物質と消毒剤(塩素)が反応して生成されます。
15	農薬類	検出値と目標値の比の和として、1以下	殺菌剤、除草剤、殺虫剤として使われている101種類の農薬であり、各農薬の検出値を各目標値で除した値を合計したものです。
16	残留塩素	1mg/L以下	塩素消毒の結果、水中に消毒効果のある状態で残留している塩素のことです。
17	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	10mg/L以上100mg/L以下	<u>基準項目No.38の項</u>
18	マンガン及びその化合物	マンガンの量に関して、0.01mg/L以下	<u>基準項目No.36の項</u>
19	遊離炭酸	20mg/L以下	水に溶けている炭酸ガスです。水にさわやかな味を与えておいしくしますが、多いと刺激が強くなります。多く含む水は水道施設の腐食等の原因となります。
20	1,1,1-トリクロロエタン	0.3mg/L以下	脱脂剤、エアゾール等に使われています。ドライクリーニングの洗浄剤、工場排水等の混入により地下水で検出されることがあり、異臭味の原因となります。
21	メチル-tert-ブチルエーテル	0.02mg/L以下	ガソリンのオクタン価向上剤、アンチノック剤、低沸点溶剤などに使われています。
22	有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)	3mg/L以下	有機物などの汚れの度合を示し、水中の有機物などの量を一定の条件下で酸化させるのに必要な過マンガン酸カリウムの量として表わしたものです。
23	臭気強度(TON)	3以下	臭気の強さを定量的に表す方法で水の臭気が、希釈して感じられなくなるまでの希釈倍数を表します。
24	蒸発残留物	30mg/L以上 200mg/L以下	<u>基準項目No.39の項</u>
25	濁度	1度以下	<u>基準項目No.50の項</u>
26	pH値	7.5程度	<u>基準項目No.46の項</u>
27	腐食性(ランゲリア指数)	-1程度以上とし、極力0に近づける	水が金属を腐食させる程度を判定する指標です。数値が負の値で絶対値が大きいほど、水の腐食性が強いことを示します。
28	従属栄養細菌	1mlの検水で形成される集落数が2,000以下(暫定)	水道施設の健全性を判断し、その存在量等の知見収集のため、暫定値を設定しています
29	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/l以下	家庭用ラップ、食品包装用フィルム樹脂の材料などに使用され、地下水汚染物質として知られます。
30	アルミニウム及びその化合物	アルミニウムの量に関して、0.1mg/L以下	<u>基準項目No.33の項</u>

※ 水質管理目標設定項目のNo.10及び12について、本市では消毒剤として二酸化塩素を使用していないので検査を行っていません。